

平成29年度 主要事業説明資料

三条市

人口減少社会を泳ぎ切るための「3つの処方箋」

このまちを持続可能たらしめるために

処方箋その1

このまちの基礎体力を向上させる!!! ⇒P 2

教育・子育て政策の更なる展開

小中一貫教育を軸とした教育システムの基盤強化 P 5

意欲を持って学ぶことができる環境の整備 P 6

安心して子育てを楽しめる環境の形成 P 7

「ものづくりのまち」の更なる深化

価格決定力の確保 P 8

経営基盤の安定化 P 11

健幸都市への更なる挑戦

外出機会の創出による健幸づくり P 13

高齢者の社会参画機会の創出【再掲】

安全・安心な暮らしへの更なる追求

災害に強い安全、安心な生活環境の整備 P 14

安心で快適な生活に欠かせない施設の整備 P 16

全ての人々の尊厳の確保

一人一人が尊重される社会の実現 P 17

地域におけるケア体制の充実 P 18

処方箋その2

人を去らせず、来たる人を追い求め、歓迎する!!! ⇒P 19

若年層の転出抑制

高等教育環境の充実 P 21

若年層の転入促進

価格決定力の確保【再掲】

新事業の創出 P 22

移住に向けたシティセールスの推進 P 24

自然動態改善への挑戦

未婚化対策及び晩婚化対策の推進 P 25

女性が働きやすい環境の整備 P 25

処方箋その3

人口減少社会、少子高齢化社会と共存する道を歩む!!! ⇒P 26

「高齢者」概念の転換

高齢者の社会参画機会の創出 P 28

地域におけるケア体制の充実【再掲】

「社会インフラ」概念の転換

既存ストックの賢い利用 P 29

持続可能な維持管理体制づくり P 30

「一極集中」思考の転換

多極分散型社会の堅持 P 31

多様なコミュニティの形成

「ものづくりのまち」の更なる深化

価格決定力の確保

コト・ミチ人材の活用 ※1-4参照

コト・ミチ人材育成事業 コト・ミチ人材連携支援事業
 (新) 木工業者への独自の価値づくりから流通までの一貫した支援

28年度
 コト・ミチ人材連携事業による
 企業支援 5件
 魅力ある工場づくり支援事業による
 企業支援 2件

技術を活かした開発支援 ※1-5参照

(新) 若手経営者実践型事業 リアル開発ラボ事業
 先駆的分野進出支援事業

28年度
 リアル開発ラボ事業
 開発支援件数 6件
 先駆的分野進出支援事業
 自動車関連分野の製品開発
 パラリンピアン競技用製品開発

産業として成り立つ農業の確立 ※1-6参照

青年就農者育成等支援事業 農業者経営体質改善取組支援事業
 農業生産法人体質強化支援事業

経営基盤の安定化

ものづくり産業の基盤強化 ※1-7参照

中核企業新市場創出支援事業 金物卸支援事業 多工程化等のための設備投資に対する支援
 新規鍛冶人材育成事業 地場産業技術継承事業 (新) ものづくりマネジメント事業
 新たな工業流通団地の造成(再掲)

28年度
 金物卸の営業力や企画提案力の強化

海外展開戦略 ※1-8参照

海外販路開拓事業 (新) インバウンド戦略の推進(再掲)

健幸都市への更なる挑戦

外出機会の創出による
健幸づくり

高齢者の外出機会の創出 ※1-9参照

まちなか交流広場運営事業 きっかけの1歩事業

外出しやすい環境の整備 ※1-9参照

デマンド交通おでかけパスの実施

高齢者の
社会参画機会の創出

意欲や能力に応じた社会参画機会の創出【再掲】 ※3-1参照

安全・安心な暮らしへの更なる追求

災害に強い安全、安心な生活環境の整備

水害対策の推進 ※1-10参照

須頃郷地区内水対策事業 新通川・島田川沿線排水区域内水対策事業
 公共下水道事業裏館第一雨水幹線工事 公共下水道整備事業(雨水) 笠堀ダムの機能強化
 遊水地(月岡地内)の整備 五十嵐川及び支川の抜本的改修 新通川河川改修事業
 島田川河川改修事業 布施谷川河川改修事業

減災対策の推進 ※1-11参照

③ 水害時におけるより精緻な避難行動支援に向けた検討 土砂災害に備えた自主避難計画の策定
 情報収集体制等の強化 ③ 新潟県消防大会の開催
 消防施設等整備事業 防災キャンプの実施 小中学校合同避難訓練の実施

28年度
雪害対応マニュアルの策定
消防設備等の整備 ほか

安心して快適な生活に欠かせない施設の整備

県央基幹病院の開院に向けた環境整備 ※1-12参照

県央基幹病院設置に係る道路等環境整備

28年度
県央基幹病院設置に係る道路等
環境整備促進期成同盟会による
要望活動

全ての人々の尊厳の確保

一人一人が尊重される社会の実現

幼児期・学齢期の育成支援 ※1-13参照

障がい児保育推進事業 特別支援教育の充実

自立に向けた就労支援 ※1-13参照

雇用促進、工賃・賃金アップに向けた取組 拠点施設での就労・生活支援の充実

28年度
障がい者居住支援拠点施設長
久の家、余暇活動支援センター
の開設

高齢者支援 ※1-13参照

③ 認知症の早期発見・相談・受診体制の充実

子ども・若者総合サポートシステム【再掲】 ※1-3参照

地域包括ケアシステム【再掲】 ※1-14参照

地域におけるケア体制の充実

地域包括ケアシステム ※1-14参照

生活支援体制の整備 医療・介護・生活支援の連携強化

28年度
在宅医療推進センターの整備
在宅医療・介護連携推進会議の
設置

1-1 小中一貫教育を軸とした教育システムの基盤強化

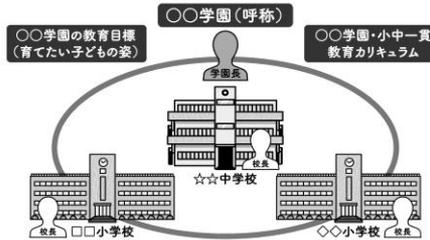
他市町村に先駆けて築き上げてきた小中一貫教育を軸とする三条市の教育システムを更に洗練、深化することで豊かな教育環境を形成するもの

小中一貫教育の洗練、深化

小中一貫教育校への移行
 ～中学校併設型小学校又は小学校併設型中学校～

学園の設置

同じ目標に向かって小中一貫教育を推進する学校としての一体感と独自の教科設定等に一定の裁量を持たせることから、全ての中学校区の学校を小中一貫教育校へ移行し、学園呼称を設定



学園長の任命

各校校長の中から小学校、中学校間の小中一貫教育の実施に関する総合調整を行う学園長を任命し、小中一貫教育校の教育目標やカリキュラム等に関する事務の指揮監督を実施

義務教育学校への移行

～施設一体型小中一貫校～

大崎中学校区小中一体校建設事業

【予算額】 3,138,721千円

校舎棟・体育館棟建設工事、既存校舎部分改修 ほか



平成30年4月開校

大崎小学校、大崎中学校の義務教育学校への移行

【予算額】 3,270千円

校旗・校歌の作成委託、大崎小学校及び大崎中学校の閉校式 ほか

学校運営体制の強化

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の試験導入

【予算額】 399千円

地域と保護者が学校運営に参画する仕組みとして、コミュニティ・スクールをモデル校(大島中学校区、栄中学校区)で導入

子どもの現状、課題、解決策等の取組の共有



1-2 意欲を持って学ぶことができる環境の整備

子どもたちの学習の効果を最大化するため、全ての児童、生徒が意欲を持って学ぶことができる環境整備を行うもの

学校・学習環境の向上

教育機会の確保

いじめ・不登校対策事業 【予算額】 16,215千円

スクールソーシャルワーカーや不登校児童生徒支援員の配置による子ども・若者総合サポートシステムの充実、SNSなどのネットいじめ防止のための講演会の開催、リーフレットの配布等

子ども・若者総合サポートシステム



経済的に困難な家庭への支援

要保護・準要保護児童生徒援助 【予算額】 105,980千円

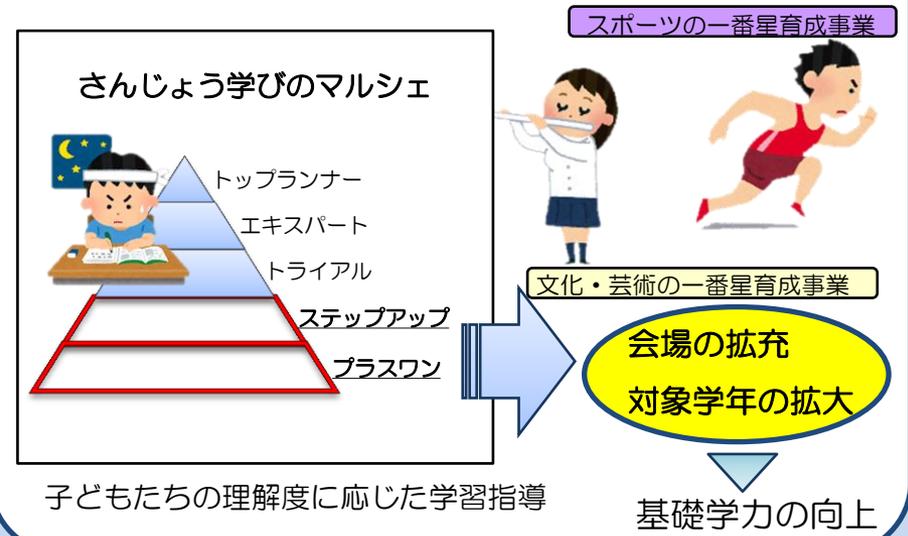
要保護・準要保護児童生徒援助費の制度周知の見直しと新入学用品費（中学校のみ）の支給時期の変更



学びの手段の充実

さんじょう一番星育成事業 【予算額】 39,423千円

子どもたちの潜在的な才能を最大限に伸ばす機会や環境の整備



子どもたちの理解度に応じた学習指導

基礎学力の向上

学力向上推進事業 【予算額】 13,837千円

理解を深めるための教材であるデジタル教科書等の整備、家庭学習を習慣づけるためのプランニングノートの配付



1-3 安心して子育てを楽しめる環境の形成

仕事と子育ての両立による経済的な不安を軽減するため子育てしやすい環境の充実を図るとともに、子どもの育ちへのきめ細かな支援を着実に実施していくことで、安心して子育てを楽しめる環境を形成するもの

子育てしやすい環境の充実

旭・裏館統合保育所建設事業

【予算額】 722,171千円

3歳未満児保育の拡充及び幼保小の連携の推進のため、裏館小学校隣に整備



平成30年4月開所

嵐南保育所移転改築事業

【予算額】 25,098千円

多様な保育ニーズに対応するための3歳未満児保育の拡充

平成29年4月開所



年度途中待機児童解消事業

【予算額】 11,813千円

年度途中の入所希望に対応する保育士の年度当初からの配置

児童クラブの充実

【予算額】 197,984千円

- ・対象児童を小学校4年生までに拡大
- ・嵐南・大島各児童クラブの整備と、いちい児童クラブの新設

子どもの育ちへのきめ細かな支援

眠育推進事業 【予算額】 1,558千円

子どもの成長・発達に大きく関わる睡眠の重要性に着目した「眠育」の推進

- ・眠育講演会の開催 ほか



三条っ子発達応援事業

【予算額】 35,584千円

子どもの育ちや個性を理解し、一人一人に合った適切な支援を実施

- ・年中児発達参観の実施 ほか

子ども・若者総合サポートシステム

【予算額】 1,910千円

乳幼児期から青少年期の就労・自立に至るまで切れ目のない総合的な支援の実施

- ・子ども・若者総合サポート会議の開催 ほか



1-4 コト・ミチ人材の活用

価格決定を流通や市場に依存する市内企業の体質転換を促すため、製品等につわる物語性の付与やその見える化などを通じた、価格以外の価値を重要視する市場を見出すための支援を行うもの

人材育成&連携支援

【イメージ】

コト・ミチ人材育成

コト・ミチ人材の確保

コト・ミチ人材との連携

価格決定力の確保

市内企業の人材育成

コト・ミチ人材育成事業 【予算額】 12,074千円

価格以外の価値を重要視する市場を見出す「コト・ミチ人材」による新たな「コト・ミチ人材」（市内「コト・ミチ人材」）の育成



(指導者)

㈱中川政七商店
代表 中川 淳 氏



(指導者)

林 薫 氏



第1期生の強化
第2期生の育成

連携支援

コト・ミチ人材連携支援事業 【予算額】 7,912千円
市内事業者が新たなコト・ミチ人材等と連携し、独自の価値づくりから流通までの全体の世界観を構築するための支援

第1期生との連携支援事業者へのフォローアップ
と第2期生との新規連携支援事業者への支援

商品開発

事業化

販路開拓

独自の世界観
の構築

木工業者への独自の価値づくりから
流通までの一貫した支援
コト・ミチ人材と連携する木工事業者に対し
て製品開発や販路開拓に関する費用を支援



※コト・ミチ人材

製品（モノ）に関する他と差別化された独自の価値（コト）づくりからその価値が伝わる流通（ミチ）の確保までの全体の世界観を構築し、展開する人材

価格決定力の獲得
(価値に見合った価格での販売)

コト・ミチ人材活用事例



コト・ミチ人材 × タダフサ（庖丁鍛冶）

1-5 技術を活かした開発支援

市内企業が価格決定力を確保するため、企業が持つ優れた技術を活かし、ニーズに基づく新たな製品開発や市場の拡大が期待される先駆的分野への進出に対して支援を行うもの

製品開発に向けた技術のマッチング

若手経営者実践型事業 【予算額】4,527千円

部品加工系の若手経営者から自社技術以外の基礎知識を習得してもらい、参加者間で技術ノウハウやネットワーク共有を図りながら企業連携による開発を促進



経営基盤の強化

連携

リアル開発ラボ事業

【予算額】14,137千円

市場の動向や技術に対して幅広い見識を有する人材による講義や企業間マッチング、試作品開発に対する助成など、ニーズに基づく商品開発を支援



異業種連携による製品開発

企業間連携 / 技術の横展開

先駆的分野への進出

先駆的分野進出支援事業

【予算額】14,164千円

市場の拡大が期待される先駆的分野への進出に向けた新たな製品の開発支援

I 開発ステージ

- 超小型モビリティの開発支援
(働くヒトの力になるEVカー)
- 東京パラリンピックに向けた開発支援
(パラリンピアンに必要な競技用製品開発)



アイスレック ホッケーのスレッジ



LOVE SANJO COPEN

II 普及ステージ

- 自動車関連分野の製品普及支援
- エネルギー利活用分野の製品普及支援
- 全天候型自転車の普及



全天候型自転車

水力発電装置

新たな製品開発・市場の拡大

価格決定力の獲得
(価値に見合った価格での販売)



1-6 産業として成り立つ農業の確立

他産業に引けを取らない産業として魅力ある農業を確立するため、価格決定力のある農業者や雇用を生み出す農業法人の育成を行うもの

価格決定力のある農業者の確保・育成

新規就農支援

青年就農者育成等支援事業

【予算額】 9,112千円

先進農業者への長期派遣研修等により、栽培技術はもとより産業として成り立つ農業に欠かせない営業力や販売力の習得を支援

栽培技術
養成研修

営業・販売
力養成研修



新たな農業経営
モデルを展開

既存農業者・農業生産法人等支援

農業者経営体質改善取組支援事業 農業生産法人体質強化支援事業

【予算額】 11,543千円

農業の一番星を育成するとともに、利益を追求し雇用を生み出せる経営体質にするため、市内農業者や農業生産法人等に対し、先進農業者等による経営体質の改善や営業・販売力の強化に向けた指導を実施

営業・販売
力の強化

農産物
生産体系の
改善



持続可能な
魅力のある農業経
営モデルを確立

産業として成り立つ農業の確立

1-7 ものづくり産業の基盤強化

ものづくり産業の経営基盤の強化のため、中小企業や卸売業、小規模事業所それぞれに応じた仕事量の維持・拡大に対する支援、ものづくり技術の維持・継承に向けた支援及び生産性の向上支援並びに新たな工業流通団地の造成を行うもの

ものづくり産業の基盤強化

ものづくり産業の仕事量の維持・拡大

市内企業への波及効果が高い
中核企業や金物卸を支援

中核企業新市場創出支援事業
(燕三条地場産業振興センター事業)

【予算額】8,997千円

中核企業の新規取引先開拓等を支援

金物卸支援事業

【予算額】3,000千円

卸売業の営業力や企画提案力の強化支援

小規模事業所の仕事量の維持・拡大を支援

多工程化等のための設備投資に対する支援

【予算額】24,993千円

経営力強化対策資金に特別枠を設け、既存枠よりも信用保証料補助率を手厚くし、小規模事業者の生産力強化を促進



伝統技術の維持・継承

新規鍛冶人材育成事業

【予算額】9,340千円

熟練の鍛冶職人による伝統技術の継承を促進するため、鍛冶職人志望者の雇用に係る人件費等を支援

地場産業技術継承事業

【予算額】6,843千円

市内企業の持つ研磨等の基礎技術を維持・継承するため、後継人材の雇用を支援

生産性の向上

ものづくりマネジメント事業

【予算額】739千円

東京大学大学院ものづくり研究センターが提案する現場改善ノウハウを当地に導入し、他の支援機関と連携した人材育成を実施



新たな工業流通団地の造成

※3-6参照

生産機能と流通機能が集積する
新たな工業流通団地の造成

栄スマートIC周辺に、その地の利を活かした工業流通団地を造成し、流通機能を付加させた新たな生産拠点を整備



1-8 海外展開戦略

市内企業の経営基盤の維持存続に資する海外販路を開拓するため、燕三条ブランドの情報発信やインバウンド戦略の推進について、燕三条地場産業振興センターなどの関係機関と連携し、海外展開を加速させるもの

海外販路開拓事業

【予算額】41,454千円

新たな顧客が見込める国や地域をターゲットに、関係機関等と連携し、現地での展示会の開催や販路開拓に関する市場調査等を実施

燕三条地場産業振興センター事業

- ・(仮称)燕三条海外展開戦略会議での海外展開総合戦略の策定
- ・シンガポール及び中国(成都市)でのモニタリング販売
- ・企業海外販路開拓プロジェクト(JETRO共催事業)
- ・中国ECサイト事業(成都市・重慶市)
- ・輸出時における企業の輸送コスト等を削減し、複数の企業が共同で輸出できる体制の整備
- ・JETRO地域間交流支援事業
- ・海外での展示会出展

B to C

B to B

三条商工会議所事業

- ・中小企業支援ODA事業
- ・海外販路開拓支援事業

燕三条貿易振興会事業

- ・ロシア商談会の実施
- ・ベトナム展示即売会、商談会の実施

インバウンド戦略の推進 ※2-3参照

三条市の強みを活かした情報発信

受入環境の整備

外国人旅行者の拡大

海外における地場製品の認知度の向上

- ・地域の魅力発信セミナーの実施(外務省と連携した燕三条地場産業振興センター事業)
- ・広域的な観光周遊ルートの形成

高い技術力

優れた品質

燕三条ブランド

世界に誇る技術と製品を武器に産業界を始め、地域が一体となって販路開拓に向けた取組を実施



1-9 外出機会の創出による健幸づくり

長寿社会となった現在、誰もが健康で幸せに暮らし続けるため、高齢者の外出を促すとともに、交流する機会を提供することで、日々の生活に生きがいを見出し、自然と健幸になれるまちづくりを進めるもの

高齢者の外出機会の創出



誰でも気軽に参加できる
イベントを数多く実施

集いの場の創出



まちなか交流広場運営事業

【予算額】14,644千円

- 誰もが気軽に参加できるイベントの実施
- スライス研究所による「食」をきっかけとした交流の場づくり（あさイチごはんほか）

イベントへの参加を通じた
コミュニティづくり

交流の促進



イベントの参加者からイベントの担い手へ

活躍の場の創出



きっかけの1歩事業

【予算額】1,772千円

- 地域デビューイベントの開催
- TPP54(これまで公民館で実施したことのない突拍子もない54のプログラム)の展開
- 各種イベントサポーター体験

外出しやすい環境の整備

デマンド交通おでかけバスの実施

【予算額】2,911千円

デマンド交通の乗車割引や市内の協賛店のサービスが受けられる「デマンド交通おでかけバス」の対象を全市の高齢者に拡大

利用対象：下田地域の高齢者 ⇒ 全市の高齢者



安全で便利

1-10 水害対策の推進

集中豪雨などの自然災害から市民の生命や財産を守るため、中小河川改修や排水路整備等に取り組み、安心して暮らせる水害に強い生活環境の確保を図るもの

水害対策の推進

内水対策の推進

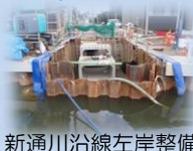
内水対策事業

【予算額】495,000千円

浸水被害の軽減を図るため、引き続き排水路整備等を実施



公共下水道事業
裏館第一雨水幹線工事



新通川沿線左岸整備

事業名	事業期間
1 須頃郷地区内水対策事業	平成24年度～平成29年度
2 新通川・島田川沿線排水区域内水対策事業	平成23年度～
3 公共下水道事業裏館第一雨水幹線工事	平成23年度～平成29年度

公共下水道整備事業（雨水）

【予算額】211,000千円

裏館第一雨水幹線排水路の整備や興野、嘉坪川及びその周辺における雨水排水路整備に向けた基礎調査などを実施



【県事業】災害復旧事業等の推進

五十嵐川災害復旧助成事業

●笠堀ダムの機能強化

ダム本体の嵩上げ工事等の実施による、流量調整機能の強化

【整備地区】五十嵐川上流域

【事業期間】～平成29年度まで



●遊水地（月岡地内）の整備

河川の流量を一時的に貯留し、緩やかに排出することによる流量の調整

【整備地区】五十嵐川中流域

【事業期間】～平成29年度まで



●五十嵐川及び支川の抜本的改修

【整備地区】五十嵐川上・中・下流域、鹿嶋川下流域

【事業期間】～平成29年度まで



中小河川改修の推進

新通川河川改修整備状況

- ・新通川河川改修事業
- ・島田川河川改修事業
- ・布施谷川河川改修事業



新通橋より下流を望む

1-1-1 減災対策の推進

過去の災害を教訓に「災害に強いまちづくり」を推進するため、市民一人一人が防災意識を持ち、自助・共助・公助の連携による地域防災力の強化や防災教育の推進に取り組むもの

防災力の強化

水害時におけるより精緻な避難行動支援に向けた検討

【予算額】10,044千円

避難行動等をより適切にサポートする仕組みの構築へとつなげるため、河川の水位情報や浸水想定等を総合的に評価し、各地域の浸水特性などの詳細な分析、研究を実施

土砂災害に備えた自主避難計画の策定

【予算額】3,608千円

予測が難しい土砂災害に備え、地域の特性に応じた自主避難計画を策定



情報収集体制等の強化

【予算額】1,186千円

防災気象情報の収集活用体制の高度化や気象に対する理解の促進を通じた地域防災力の向上などを図るため、防災気象アドバイザーを雇用

消防力の充実・強化

新潟県消防大会の開催

【予算額】8,323千円

消防団員の更なる技術の向上のため、「新潟県消防大会」を開催

- 開催日 平成29年7月30日
- 会場 ・燕三条地場産業振興センター
・三条防災ステーション駐車場
- 参加 新潟県内消防団員



消防施設等整備事業

【予算額】118,968千円

消防力の充実・強化を図るため、消防ポンプ自動車、高規格救急車等を更新

防災教育等の推進

防災キャンプの実施

【予算額】1,030千円

災害時に自ら危険を回避するために必要な技術・知識の習得

【H29年度実施：大島中学校区】



小中学校合同避難訓練の実施

地域と小中学校との合同の避難訓練



1-12 県央基幹病院の開院に向けた環境整備

県央地域全体の住民の生命を守り抜く拠点となる県央基幹病院へのアクセス道路網の早期整備に向けた要望や県央地域の看護師の慢性的な人材不足の解消など、開院に向けた諸般の環境整備を行うもの

県央基幹病院設置に係る道路等環境整備



慢性的な交通渋滞の解消

【予算額】150千円

都市計画道路下須頃上須頃線、国道403号バイパス、(仮称)石上大橋下流橋などといった県央基幹病院へのアクセス道路網の早期整備を要望



県央基幹病院設置に係る道路等環境整備促進期成同盟会 要望活動状況

県央基幹病院

基幹病院候補地 (上須頃地区 高速道路西側)



平成35年度早期の開院

看護師の慢性的な人材不足の解消



看護系高等教育機関の誘致

※2-1 参照

--- 開院に向けたアクセス道路整備要望箇所

1-13 一人一人が尊重される社会の実現

障がいや疾患の有無などにかかわらず、個々の意思が尊重され、尊厳を持って快適な暮らしを送ることができる地域社会の形成を目指すもの

ライフステージに応じた障がい・疾患への支援

幼児期・学齢期の育成支援

【予算額】122,515千円

障がい児保育推進事業

障がい児保育の推進を図るための私立保育園等への支援



特別支援教育の充実

特別支援サポーターの増員

自立に向けた就労支援

【予算額】1,068,178千円

雇用促進、工賃・賃金アップに向けた取組

- 障がい者を新たに雇用する事業所への支援
- 工賃アップアドバイザーによる社会福祉法人への支援及び雇用受入事業所等の開拓
- 生活困窮者の就労に向けた準備支援

拠点施設での就労・生活支援の充実

- 「グッデイいきいきサポートセンター」を核とした日中活動支援
- 「長久の家」での居住支援・余暇支援

高齢者支援

【予算額】8,851千円

認知症の早期発見・相談・受診体制の充実

在宅で暮らす認知症の人やその家族を訪問し、初期の支援を集中的に行う専門医と医療と介護の専門職で構成する「認知症初期集中支援チーム」の設置



※1-3参照

子ども・若者総合サポートシステム

※1-14参照

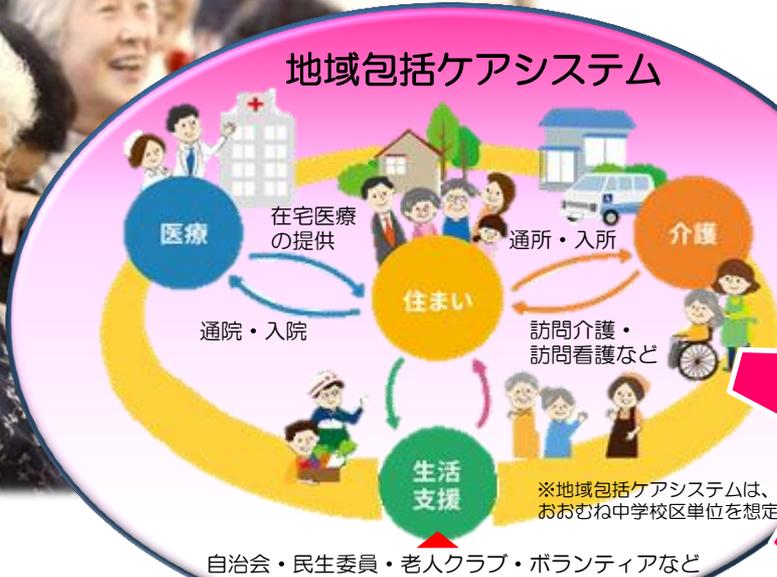
地域包括ケアシステム

障がいや疾患の有無にかかわらず、
快適な暮らしを実現



1-14 地域におけるケア体制の充実

医療や介護が必要になったとしても、生涯にわたり住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境を整えるため、限られた医療資源を補完できるだけの体制の構築を進めるもの



医療・介護・生活支援の連携強化

【予算額】7,028千円

在宅医療推進センターを核に、地域包括支援センターを通じ、医療、介護、生活支援を一体的に提供するための総合調整機能を整備

在宅医療推進センター

医療・介護・生活支援に関する情報や課題の集約

包括ケア推進会議

医療・介護・生活支援の連携等、地域包括ケアシステム構築に関する課題解決策の協議

地域包括支援センター

地域にある資源をつなぎ、サービスの利用調整を行う

高齢者とその家族の生活の総合支援



ICTを活用した情報共有システムの構築

【予算額】3,888千円

タブレット端末等を活用し、利用者の医療・介護・生活支援に関する情報を迅速かつ正確に共有し、緊急時を含め効率的・効果的に支援を提供する体制を構築

生活支援体制の整備

住民相互の支え合いによる生活支援体制の整備

いきいきサロン等の地域住民の通いの場で醸成された顔の見える関係を、住民相互の支え合いにつなげるとともに、通いの場の新規立上げを支援

元気な高齢者による生活支援体制の構築

通いの場

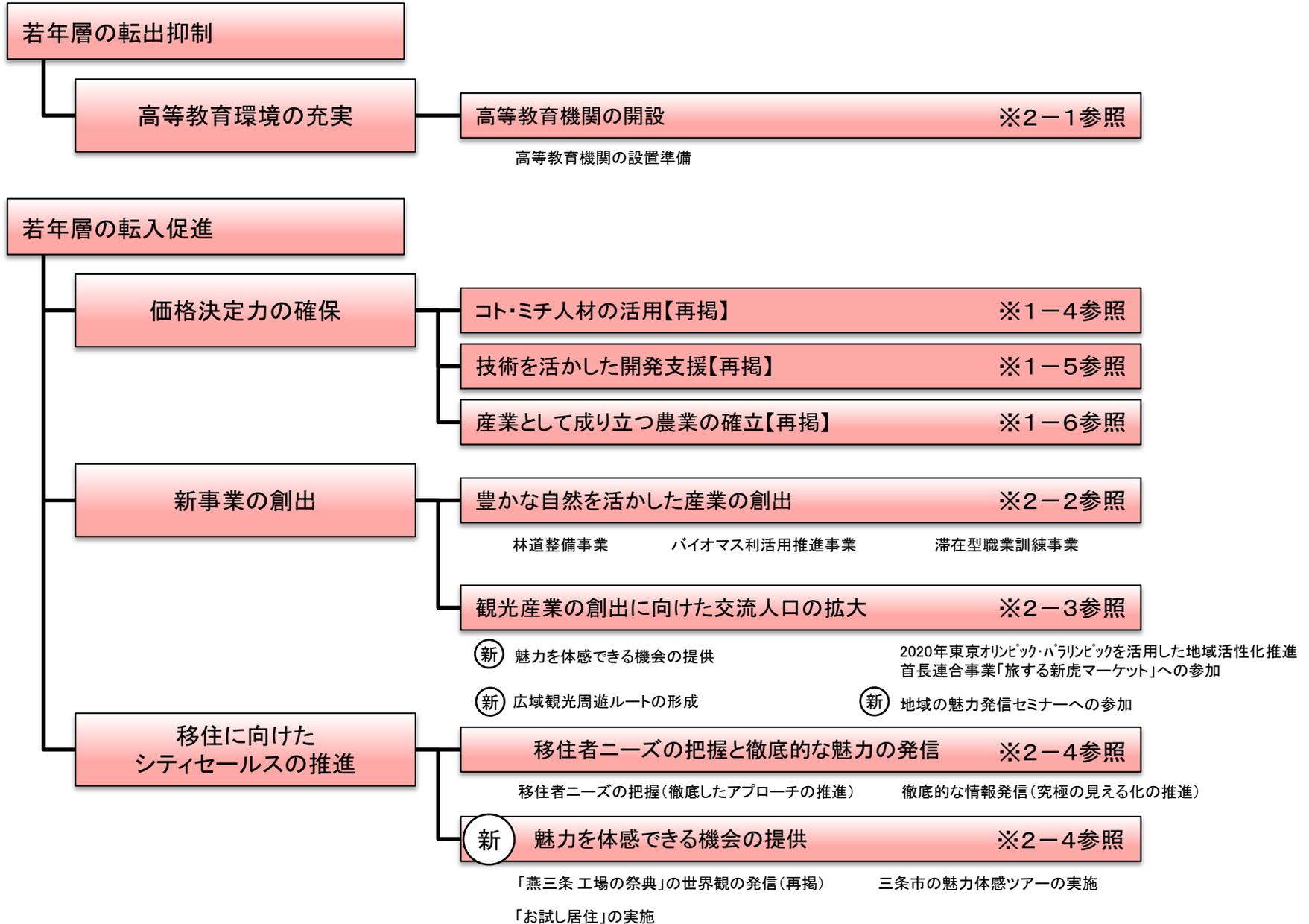
高齢者人口250人に1か所
※自治会単位を基本とし、地理的要件も加味

新規立上げ・継続支援

地域包括支援センター けんどうライフ応援ステーション
シルバー元気プロジェクト ※3-1参照

処方箋その2 人を去らせず、来たる人を追い求め、歓迎する!!!

～人口流出を抑制し、人口の復元力を高めることで社会動態を改善～



自然動態改善への挑戦

未婚化対策及び 晩婚化対策の推進

未婚化対策及び晩婚化対策

※2-5参照

婚活支援事業

女性が働きやすい 環境の整備

男女平等意識の醸成

※2-5参照

男女共同参画推進事業

子育てしやすい環境の充実【再掲】

※1-3参照

2-1 高等教育環境の充実

高校卒業に伴う若年層の転出抑制を図るため、地元就職に結び付く実学系ものづくり大学の設置や看護系高等教育機関の誘致を行うもの

高等教育機関の開設

ものづくり分野



ものづくり人材の
高齢化と後継者不足

地元企業の持続的発展に
寄与できる人材の育成

地域医療分野



看護師等の
慢性的な人材不足

地域医療を担う人材の
供給基盤の確立が急務

高校卒業に伴う
若年層の転出を抑制

平成32年4月開校

実学系ものづくり大学

学校種	大学（4年制）
設置場所	須頃地区（県央基幹病院隣接地）
設置・運営	市が設置し、公立大学法人が運営
学科等	1学部1学科（1学年80名）

看護系高等教育機関

学校種	専修学校（専門課程）（3年制）
設置場所	須頃地区（県央基幹病院隣接地）
設置・運営	市が整備し、運営者を誘致
学科等	看護師、歯科衛生士、医療事務

高等教育機関の設置準備

【予算額】 3,421千円

実学系ものづくり大学

- ・公立大学法人の設立に向けた検討
- ・人材育成像及び教育カリキュラムなどの検討

看護系高等教育機関

- ・医療関係者からなる懇談会での意見を踏まえ、最適な教育環境を提供するための連携体制の構築



2-2 豊かな自然を活かした産業の創出

下田地域の豊かな森林資源や観光資源を活用することにより、新たな産業の創出を目指すもの

バイオマス関連産業の創出

林道整備事業
【予算額】79,000千円
濁沢名下線の開設及び上大浦線の舗装

森林施業（植林、保育、間伐、主伐、木材搬出）の促進による林業分野の雇用を創出

バイオマス利活用推進事業
【予算額】347千円
バイオマス資源の活用に向けた協議会、木質バイオマス発電事業者との調整

木質バイオマス発電所の稼動に伴い、新たな雇用を創出



地域資源を活かした産業を担う新たな人材の育成

滞在型職業訓練事業

【予算額】7,566千円

旧荒沢小学校で開講した滞在型職業訓練施設「ただ塾」で、豊かな自然環境や観光資源を活かしたカリキュラムによる滞在型職業訓練事業を実施

拡充

観光・アウトドアコース

下田地域の観光資源の活用とアウトドア分野(アウトドア製品、アクティビティ等)の活用を併せた職業訓練の実施

• 下田地域の観光資源を活用したアウトドア観光の創業
• NPOが展開する観光部門、アウトドア関連企業への就業

新規

木質バイオマスコース

林業を含む木質バイオマス分野に関する職業訓練を実施

バイオマス発電所への燃料供給を担う林業従事者のほか、バイオマス関連企業への就業



2-3 観光産業の創出に向けた交流人口の拡大

三条市の強みを活かした情報発信や基本的な受入環境の整備を進めることにより外国人旅行者の拡大を図るとともに、海外における地場製品の認知度の向上を図るもの

インバウンド戦略の推進



魅力を体感できる機会の提供

「燕三条 工場の祭典」の実施
(燕三条地場産業振興センター事業を含む。)【予算額】24,510千円
3つのKOUBA(工場、耕場、購場)を巡ることで、ものづくりの魅力を体感できる機会を提供

「燕三条 工場の祭典」の世界観の発信
【予算額】8,000千円
工場の祭典が持つ世界観を通年で伝えるため、燕三条駅やものづくり学校等を拠点としたものづくりの魅力の発信体制を構築



外国人旅行者の増加

©「燕三条 工場の祭典」実行委員会

2020年東京お光ッパ・パリッパを活用した地域活性化推進首長連合事業「旅する新虎マーケット」への参加

【予算額】5,421千円

東京に訪れる国内外の人たちの誘客につなげるため、ものづくりをテーマとしたマーケットでの情報を発信

広域的な観光周遊ルートの形成

インバウンド戦略推進事業

【予算額】2,754千円

- 新潟広域都市圏形成に係る連携中枢事業
- 関東観光広域連携事業推進協会への参加
ほか

関係機関等との連携による情報発信

地域の魅力発信セミナーへの参加 (燕三条地場産業振興センター事業)

【予算額】432千円

外務省が都内で開催する駐日外交団へのセミナーに参加し、地域の特色・取組等を発信

2-4 移住に向けたシティセールスの推進

移住希望者のニーズを把握し、それぞれが関心のある情報を発信するとともに、転入者へのきめ細かな対応や魅力体感ツアーなどの実施により、移住までの一貫したサポートを通じて、移住を推進するもの

シティセールスの促進



発信



移住者ニーズの把握と徹底的な魅力の発信

移住者ニーズの把握(徹底したアプローチの推進)

(転入促進情報発信事業) 【予算額】2,903千円
三条市の魅力の発信と併せ、移住者の希望を把握するため、ふるさと回帰フェアなど首都圏の移住イベントに参加

徹底的な情報発信(究極の見える化の推進)

(転入促進支援事業) 【予算額】2,659千円
先輩移住者や市民の方々の声をまとめた冊子の作成、移住情報誌や新聞等への移住情報の掲載などを実施

体感

魅力を体感できる機会の提供

「燕三条 工場の祭典」の世界観の発信

※2-3参照

工場の祭典が持つ世界観を通年で伝えるため、燕三条駅やものづくり学校等を拠点としたものづくりの魅力の発信体制を構築

三条市の魅力体感ツアーの実施

【予算額】300千円

ものづくり体験や市内住民との意見交換など、「三条市の魅力や良さ」を実感してもらうツアーを実施

「お試し居住」の実施

【予算額】660千円

若者層の移住希望者を増加させるため、市内で「暮らす・働く」を体験できるお試し居住を実施



2-5 自然動態改善への挑戦

未婚化対策及び晩婚化対策に取り組むとともに、多様な保育ニーズへの対応など、女性が働きながら安心して子育てできる環境を整えることで更なる出生率の向上を図るもの

未婚化対策及び晩婚化対策

婚活支援事業

【予算額】497千円

さんじょう恋婚♥実行委員会が企画・運営する出会いと交流を創出するイベント「さんじょう恋婚♥」等を支援

さんじょう恋婚♥ 平成27年度

参加者数
138人

マッチング♥成立数
21組 (42人)



イベントを4回開催のほか、向上男子計画、交流ランチ等、希望制の講座を実施

男女平等意識の醸成

男女共同参画推進事業

【予算額】1,527千円

スキルアップ、再就職支援、男性向け家事・育児等に関するフォーラムやセミナーを通じた男女共同参画意識の醸成による就業促進



※1-3参照

子育てしやすい環境の充実

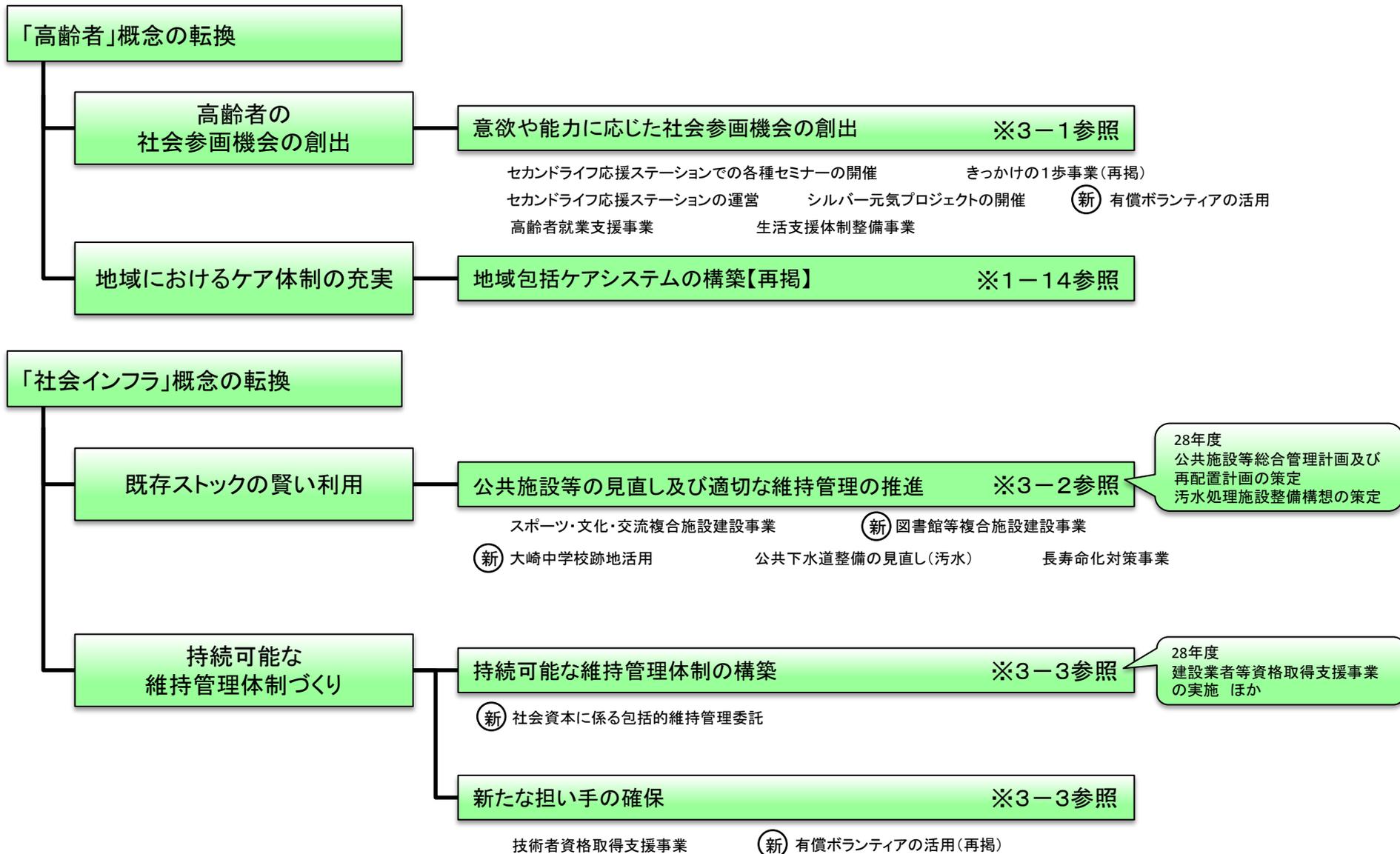
3歳未満児の保育の拡充や待機児童の解消など多様な保育ニーズへの対応等

- 旭・裏館統合保育所建設事業
- 嵐南保育所移転改築事業
- 年度途中待機児童解消事業
- 児童クラブの充実
- 障がい児保育推進事業



処方箋その3 人口減少社会、少子高齢化社会と共存する道を歩む!!!

～高度成長期以来の価値観の転換を図ることで「持続可能」という最強の武器をこの手に～



「一極集中」思考の転換

多極分散型社会の堅持

都市機能の再構築

※3-4 ~ 3-7参照

【中心市街地】**新** 図書館等複合施設建設事業(再掲)

スポーツ・文化・交流複合施設建設事業(再掲)

新 (仮称)まちなか公共施設連携・整備検討委員会の設置

【須頃地区】 須頃地区都市環境の整備

【栄地域】 新たな工業流通団地の造成 新たな住宅団地の造成

【下田地域】 地域おこし協力活動事業 滞在型職業訓練事業(再掲) 八十里越整備促進事業 **新** 生活基盤の維持

生産の営み

生活の営み

多様なコミュニティの形成

地縁型コミュニティの維持・存続

テーマ型コミュニティの構築

パイロット事業

〔下田地域〕

■生産の営み

バイオマス利活用推進事業
滞在型職業訓練事業
林道整備事業
青年就農者育成等支援事業

■地縁型コミュニティの維持・存続

下田郷の歴史遺産再発見事業
コミュニティ支援交付金
公園施設管理

■生活の営み

地域おこし協力活動事業
医療体制確保対策事業
移住促進事業

■テーマ型コミュニティの構築

三条楽音祭
スノーアクティビティ
きっかけの1歩事業

〔まちなか〕

■生産の営み

ものづくり拠点施設事業
創業塾pontekia

■地縁型コミュニティの維持・存続

コミュニティ支援交付金
公園施設管理

■生活の営み

地域おこし協力活動事業
ご用聞き笑店街運営事業
移住促進事業

■テーマ型コミュニティの構築

まちなか交流広場運営事業
三条マルシェ
きっかけの1歩事業

3-1 意欲や能力に応じた社会参画機会の創出

長寿社会における重要な担い手となる高齢者の日々の暮らしの充実感を高めるため、意欲や能力を最大限に発揮できる環境づくりを進めるもの

意欲 × 活動 = 充実したセカンドライフ

人材育成・発掘

「何かしてみたい」と考える高齢者を活動につなげていくためのきっかけづくり

セカンドライフ応援ステーションでの各種セミナーの開催

ボランティア体験セミナー、仕事やボランティア等につながるセミナーを毎月1～2回開催



きっかけの1歩事業

※1-9参照



意欲と活動とのマッチング

セカンドライフ応援ステーションの運営

【予算額】6,852千円

活動希望者等の人材情報、担い手を求める分野等の情報を集約し、高齢者と活躍の場をつなぐとともに、活動に係る必要な支援を提供

バックアップ

シルバー元気プロジェクトの開催

【予算額】300千円

高齢者の意欲や能力を発揮させるための環境づくりに向けた検討・実践



活躍の場の拡大

関係機関と連携した高齢者の活躍の場の裾野の拡大

有償ボランティアの活用

【予算額】1,538千円

清掃などの公共施設の維持管理において試行してきた有償ボランティアを、新たにイベントの運営補助等にも拡大

シルバー人材センターへの支援

高齢者就業支援事業

【予算額】9,630千円

- ・就業支援のための講習
 - ・新たな就業先の開拓
- ほか

生活支援体制整備事業

【予算額】2,500千円

介護・生活支援分野に係る担い手の育成支援

3-2 公共施設等の見直し及び適切な維持管理の推進

必要なものは「新しくつくる」という従来の考えから、既存ストックを「賢く使う」へと価値観の転換を図り、財政負担の軽減と安全性や利便性の維持の両立を図るもの

価値観の転換

新しくつくる

賢く使う

公共施設の効率的な活用

施設の複合化・集約化

スポーツ・文化・交流複合施設建設事業

【予算額】 20,404千円

体育文化センター及び総合体育館跡地に、スポーツ・文化・交流を促進するための機能を備えた複合施設を整備



体育文化センター

総合体育館

図書館等複合施設建設事業

【予算額】 127,515千円

三条小学校跡地の活用として、図書館、鍛冶ミュージアム、理科教育センターの機能を有した複合施設の整備に向けた検討、校舎の解体等



三条小学校

施設機能の見直し

大崎中学校跡地活用

大崎中学校移転に伴う跡地活用を地元の要望等を勘案しながら検討



大崎中学校

施設規模の見直し

公共下水道整備の見直し（汚水）

【予算額】 19,621千円

人口減少等を見据えた効率的な汚水処理施設整備構想の実現に向けた、具体の整備手法を検討

長寿命化の推進

長寿命化対策事業

【予算額】 640,258千円

これまでの事後保全的な維持管理から、計画的な予防保全（点検、補修、補強等）による長寿命化を推進することで、ライフサイクルコストを平準化及び縮減

- 道路長寿命化
- 橋梁長寿命化
- 公園長寿命化
- 農業集落排水施設長寿命化
- 下水道施設長寿命化 ほか

予防保全のための仕組み



- 安全性の確保
- 予算の最適化
- 施設機能の健全化



3-3 持続可能な維持管理体制づくり

市民生活に欠かすことのできない社会インフラの効率的かつ安定的な維持管理等を行うため、市内の建設業者が永続的に活動できる環境整備等を行うもの

建設業者の減少
就業者の減少

社会インフラの
維持管理に悪影響

新たな維持管理体制
の構築



効率的

地域の実情を熟知している
地元建設業者が永続的に活
動できる環境を整備

安定的

持続可能な維持管理体制の構築



新たな担い手の確保

技術者資格取得支援事業

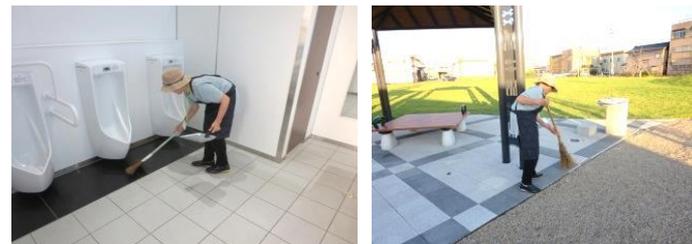
【予算額】 2,000千円

社会インフラの維持管理や災害対策
等において重要な役割を担う地元建
設業の技術者育成に向け、特殊機械
の運転等に係る資格取得支援を実施



有償ボランティアの活用 ※3-1参照

地域の元気な高齢者などが、有償ボランティアと
して公園など公共施設の簡易な維持管理を実施



社会資本に係る 包括的維持管理委託

【予算額】 50,918千円

道路や公園などの効率的
かつ安定的な維持管理
委託の実施

H29年度は、
嵐北地区の一部で実施



3-4 多極分散型社会の堅持（中心市街地）

かつての交流機能が失われつつある「中心市街地」に、これまで以上の交流や賑わいを創出するため、公共施設跡地を最大限有効に活用し、多彩な市民活動を育むエリアとして整備するもの

中心市街地
かつてのまちの顔
多彩な市民活動を育むエリア

三条小学校跡地

図書館等複合施設建設事業

※3-2参照

図書館機能



鍛冶ミュージアム機能



理科教育センター機能



体育文化センター及び総合体育館跡地

スポーツ・文化・交流複合施設建設事業

※3-2参照

スポーツ



文化



交流



（仮称）まちなか公共施設連携・整備検討委員会の設置

【予算額】1,986千円

各施設における空間デザインや機能はもとより、既存施設も含め、個々の点と点を有機的に連携させ、面として展開していくための具体の手法について検討

ステージえんがわ

歴史民俗産業資料館

鍛冶道場

中央公民館

定期露店市場



3-5 多極分散型社会の堅持（須頃地区）

県央基幹病院の建設予定地である「須頃地区」は、広域交通の結節点でもあり、広域的な都市機能等の集積エリアとして整備するもの

須頃地区

交通の結節点

広域的な都市機能の集積エリア

須頃地区都市環境の整備

【予算額】391千円

用途地域の指定、都市計画審議会の開催、県央基幹病院設置に係る道路等環境整備促進を実施

県央地域全体の安全・安心な暮らしの確保

広域的、基幹的な様々な都市機能を集積

新たな就学の場の創出による若年層の転入促進・転出抑制

県央基幹病院の開院

※1-12参照

平成35年度早期

高等教育機関の開設

※2-1参照

看護系高等教育機関

実学系ものづくり大学

実習等の連携

3-6 多極分散型社会の堅持（栄地域）

生産機能と流通機能が集積する新たな工業流通団地を「栄地域」に造成するとともに、働く人が子育てしやすく仕事と生活の調和がとれた住みやすいまちとして、新たな住宅団地を造成するもの

栄地域

物流の要衝

生産機能と流通機能が集積し
働きやすく住みやすいエリア

新たな住宅団地の造成

働く場や子育て支援施設等に近接する新たな住宅団地の造成

【予算額】407,822千円 ※債務負担行為(H29~H30) 限度額407,822千円
(県央土地開発公社の資金借入先に対する債務保証)

新たな工業流通団地の造成に併せ、そこで働く人が住みやすい環境の整備



新たな住宅団地の造成



子育て支援施設等が立地する栄地区

新たな工業流通団地の造成

生産機能と流通機能が集積する新たな工業流通団地の造成

【予算額】300,609千円 ※債務負担行為(H29~H31) 限度額300,609千円
(県央土地開発公社の資金借入先に対する債務保証)

栄スマートIC周辺に、その地の利を活かした工業流通団地を造成し、流通機能を付加させた新たな生産拠点を整備

工業流通団地のイメージ



生産機能の集積



流通機能の集積

職と住が近接し、仕事と生活の
調和がとれる、住んでみたくなる
まちとしての付加価値が向上

新たな就業の場の
創出による
若年層の転入促進

住宅団地の造成に
よる就業者の
住宅難を解消

生産と流通を担う
新たな産業集積エリア
としての価値が向上

地域コミュニティ
の維持

3-7 多極分散型社会の堅持（下田地域）

豊かな自然と地縁型コミュニティが残る「下田地域」の昔ながらの生活環境を維持しつつ、新たな魅力を創出するため、地域おこし協力隊の活用や国道289号八十里越の開通に向けた環境整備を行うもの

下田地域

日本の原風景

古き良き暮らしが息づくエリア

地域おこし協力活動事業

【予算額】83,697千円

地縁型コミュニティの維持・存続を図るため、地域おこし協力隊による地域との交流を始め様々な活動を通じた課題解決等の支援を実施



豊かな自然を活かした
新たな魅力の創出

滞在型職業訓練事業

※2-2参照

旧荒沢小学校で豊かな自然環境や観光資源を活かしたカリキュラムによる滞在型職業訓練事業を実施



八十里越整備促進事業

【予算額】18,425千円

国道289号八十里越の開通を視野に入れた様々な連携・交流事業の実施

- ・産業振興施策等に関する調査研究
- ・歴史の道八十里越の史跡指定に向けた現地調査等
- ・秘境八十里越体感バスの運行



生活基盤の維持

医療体制確保対策事業

【予算額】2,400千円

下田地域の新たな診療所の開設に向け、人材紹介会社に医師紹介業務を委託